

令和7年度 第33回倉敷ケーブルテレビ番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和8年3月17日(火)

2 開催場所 株式会社倉敷ケーブルテレビ 1F セミナールーム

3 委員出席

委員総数 10名

出席委員数 5名

出席委員名

伊東香織 倉敷市長 代理/くらしき情報発信課 課長 安藤俊晴

柴田義朗 玉野市長 代理書面/秘書広報課

片岡聡一 総社市長 代理書面/政策調整課

仁科康 倉敷市教育委員会 代理/学校教育部長 湯地嘉隆

大原あかね 倉敷商工会議所会頭

尾崎茂 児島商工会議所会頭 代理書面/総務課長 細羽浩平

石黒和之 総社商工会議所会頭 代理/専務理事 石原和則

熊本雄介 倉敷青年会議所理事長

欠席委員名

山根一人 玉野商工会議所会頭

藤井雅矩 児島青年会議所理事長

放送事業者側出席者名

伊藤享 代表取締役社長

佐野真洋 常務取締役

山本健太郎 取締役

樋上康宏 取締役

八幡聡 放送制作部長

事務局

水野雄介 放送制作部広告企画営業課長

岡村祐紀 放送制作部報道制作課長

藤中宏充 放送制作部メディア編成制作課長

藤原崇 放送制作部制作システム課長

4 議 題

<番組審議>

▽「地域元気宣言！トップの声」

<報 告>

▽2025（R7）年度自主制作番組 実績

▽2026（R8）年度番組編成、チャンネル改編について

5 審議内容

◆「地域元気宣言！トップの声」

【伊東香織 倉敷市長】代理／安藤俊晴 くらしき情報発信課課長

クラブンの伊澤社長とは面識もあり非常に興味深く拝見させていただいた。社長の人となりを感じたのと、会社の歴史や、会社の中でこんなことをやっていたとか、ラップの社歌は聞いたことがなくインパクトがあり面白く見ることができた。会社の社長としての思いや、個人としての色々なプライベートの部分が紹介されていたのは親近感が湧いて良かった。地域の会社で働く人が減ってきているというのを聞いているので、こういう番組をこれから就職するような世代の方が見て就職に繋がり、地元の企業の活性化に結びつけられればいいと感じた。

【仁科康 倉敷市教育委員会教育長】代理／湯地嘉隆 学校教育部長

まず感じたのは、飾らない生の声。会社の中で働いている方の職場での様子等の映像もあり、歴史のスタートの起点になるものや発展の様子がわかりやすく見ていてすごく吸い込まれた。市立の高等学校の生徒、中学生の生徒がこの番組を見て、夢を持ってこういう風に仕事をやっていきたい、こういうことを達成したい、そういう所にも繋がる番組であったと思う。教員の確保が非常に難しいと状況で、若い世代の採用試験を受験する方へ LINE 等で学校の様子を紹介している。実際の映像を見ながら目指す様子がわかり、こうやって頑張りたいと思えるような何らかの手立てをしている状況なので、そういう意味ではこのような番組が地域の人材確保に非常にいいのではないかなと思う。

【大原あかね 倉敷商工会議所会頭】

インタビュアーの方が事前調査を十分にされているということを感じた。質問がクリアでそれに対してきちんと的確に答えられており、人の話を引き出すことができていた所にも大変感心した。会社のプロモーションをご自分自身の言葉で語る場面があるのも非常に良かった。ただ全員男性だなとは思ったが、今、実際倉敷で活躍している方たちが男性中

心だというのは紛れもない事実で、視聴者が聞きたい人にきちんと聞いているということも重要なことなのではないかと思った。私自身も15分とは思えない内容の濃い番組だと感じた。

【石黒和之 総社商工会議所会頭】代理／石原和則 専務理事

番組のタイトルだが、トップの方の性格なり会社の状況というものをよく引き出そうとしているタイトルだと思う。ただ、この番組を見てどの世代の方が共感するだろうかと思った時に、高校生・中学生にはちょっと重たいのではないかと感じた。今、企業は人材確保に非常に苦勞している。人材確保に繋げようと思った時に、もう少しトップの方が今話していることを裏付けるような従業員の方の声があってもいいかと思った。少しでも若い世代が見て、そこで働いてみたいと思うような、そういうところにも少し目を向けていただけるとさらに若い世代が見るのではないかという気がした。

【熊本雄介 倉敷青年会議所理事長】

トップとしてのビジョンだけでなく、現場で撮影するというのが親しみを感じて良いと思った。我々青年会議所は比較的若い世代なので、少し若い目線から話をさせて頂くと、この番組は20代～40代の方には目にしにくい番組ではないかと思う。今、誰にこの番組を届けたいかという、これから地域に残っていただく若い世代に見て欲しいという思いがある。我々も以前番組を作らせて頂いたが、若い人たちに見てもらう為に若い人たちを出演させ、司会を高校生にした経験がある。この番組も高校生を中心にインタビューも高校生が高校生の目線ですれば、聞く姿勢・見る姿勢も変わってきて、色々な年代の視聴者に見て頂けるのではないかと思った。出演者のほとんどの方を存じているが、どの方も話が上手だなと思う。

【柴田義朗 玉野市長】代理書面／秘書広報課

- ・経営者の方のなかなか聞くことができない貴重な話が聞けるのが良かった。
- ・会社の雰囲気や働く社員の方の表情が画面を通して伝わってきたのが良かった。
- ・気になったのはインタビューの内容にもう少し字幕があれば見やすかったのではと思ったことと経歴の字幕のスピードが少し速いのではと思った。

【片岡聡一 総社市長】代理書面／政策調整課

- ・短い時間の中でも、企業の歩みや理念、今後の展望が丁寧に紹介されていて、興味深く拝見しました。
- ・企業トップが飾らない言葉で語る姿が印象的でした。難しい経営論ではなく、率直な思いを自身の言葉で伝える姿勢は、若い世代にも自然と受け入れられるのではないかと感じました。

- ・番組全体を通じて、地元企業への誇りや信頼感を視聴者に届けたいという思いや、地域の企業の頑張りを紹介することで地元企業の価値を再認識してもらい、地域全体を盛り上げていきたいという制作側の意図がうかがえました。

【尾崎茂 児島商工会議所会頭】代理書面／総務課長 細羽浩平

- ・地場に立地 している企業の経営方針や会社の代表者の顔が見えることで、視聴する方が地域の会社に対して親近感や興味を持ってもらえる内容となっていて大変良いと感じました。
- ・伊澤社長のお話しされていた、「開拓なくして発展なし」
うさぎやの開業によって会社の転換期がきて、日本初の大型文具専門店開業という、来てもらった方に喜んでもらいたいという会社の方針が伝わる内容だった。
- ・会社は人で成り立っているという基本の考えの元、地域の中での企業の在り方として、業界で日本一になるという目標をもって事業を行い、地場企業が元気になることで、地域を元気にしていきたいという想いが伝わる内容となっていた。
- ・構成として、社長へのインタビュー場面だけではなく、社員の働いている様子や素の部分などの映像もあり、変化があることで飽きることなく番組を視聴できる内容だった。放映時間も約 15 分程度で丁度よいかと思います。

◆2026（R8）年度 番組等について 意見・感想

【伊東香織 倉敷市長】代理／安藤俊晴 暮らしき情報発信課課長

倉敷市の拠点に常駐する記者が減っているという状況で、市長より日頃伝えたいことがあると KCT に依頼すると言われるので、地元の方に伝えるという意味では助かっている。現在、人員がかなり厳しい状態にあることを聞いているが、今後も KCT と協力してやっていきたい。県内の CATV の中で重要な役割を担い広域的な展開をされていると思うが、地域のメディアとして活躍していただきたい。

【仁科康 倉敷市教育委員会教育長】代理／湯地嘉隆 学校教育部長

仁科教育長から、日頃から学校に関わる行事等を繰り返し色々な場面で放送して頂き大変有難いと言われている。合わせて、学校教育という部分と生涯学習という部分を両輪に中心に据えながら、教育長としての方向性を示して下さっている。生涯学習部分の公民館での活動等にもスポットを当てていただき、老人から子どもたちまでの活動の紹介をしていただくと非常に有難い。学校が終わって子どもたちが放課後公民館で活動できるような学ぶ場を設けていきたいと思っており、公民館で地域の方と繋がりながら子供たちが生活できるようになることを願っている。

【大原あかね 倉敷商工会議所会頭】

商工会議所は中小企業の方たちが大部分なので、小さな会社の方たちにとって、学校教育にどうやって入っていくか、学校と連携しどう関わっていくかという問題がある。今後、どういふ番組作りに協力できるのかを考えたいと思う。

【石黒和之 総社商工会議所会頭】代理／石原和則 専務理事

色々な情報を流してもらえ、取材にも来ていただけるので助かっている。商工会議所的には、企業の中の人材確保ということがあり、企業の求人募集にはかなりの費用がかかる。色々な所に依頼しても求人が来ないので、安価で気軽な求人募集で、一緒に働きませんかみたいな感じで、そういう CM が流れてくると、広く地元の企業の情報が知られるのではないかと思う。地元の企業のことを知らない方も多いので、KCT と連携して何か新しいアクションを起こせないかと思う。

【熊本雄介 倉敷青年会議所理事長】

地域の宣伝活動の取り組みを取材していただき有難い。JC は若手の経営者が多く、各地区の JC との繋がりもある。我々にしかできないこともあるので、何かあれば皆さんと協力して活動させて頂きたい。

A. 【八幡聡 放送制作部部長】

番組に関しては、現場の意見を取り入れて制作している。若い人がテレビを見なくなって、中高年の視聴者が多いのが現状で、若い世代に向けた「ブーカツ」などの番組も制作しているが、なかなか難しい状況。テレビやメディアの変革の時期であるので危機感を持ってやっていかなければならない。皆さんのご意見を取り入れ、ターゲットを見据えてたくさんの人に見て頂けるようにしたいと思っている。

番組の理念とともに、「エリア内の色々な出来事を取材し、そしてたくさんの方に出演していただく」をモットーにこれからも番組制作していくのでご協力をお願いしたい。

6 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 倉敷ケーブルテレビホームページ

公表の内容 審議内容抜粋

公表年月日 令和8年4月1日(水)～